

絆きずな 8号

平成28年7月19日

発行責任者：吉竹一泰

いじめのない学校に！～アンケート結果から～

いじめは、人間として絶対に許されない行為である！

本校では毎学期に「いじめアンケート」を実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めています。今学期は6月13日に実施をし、前回の調査（2月・1年生は4月入学以降）から今までにいじめを受けたか、いじめをしたかなど大きく8項目の調査を行いました。その結果は以下の通りです。（全校生72名）

	項 目	人数	割合	
1	いじめられたことがある	3	4.2%	
2	今もいじめられている	1	1.9%	
3	冷やかしやからかい・悪口など	3	4.2%	
	仲間はずれ・集団による無視	2	2.8%	
	（叩かれたり、たかられたりなど、その他の内容は0でした）	0	0%	
4	人をいじめたことがある	0	0%	
5	いじめられている人を見たことがある	4	5.6%	
6	いじめられている人がいると聞いたことがある	6	8.3%	
7	いじめられたときに誰に相談するか （複数回答）	担任	28	38.9%
		担任以外の先生	17	23.6%
		養護教諭	6	8.3%
		スクールカウンセラー	17	23.6%
		学校外の相談機関	2	2.8%
		保護者や家族	52	72.2%
		友だち	55	76.4%
		その他	0	0%
相談しない	4	5.6%		
8	いじめられている人を見たらどうするか （複数回答）	注意する	37	51.4%
		励ます	31	43.1%
		先生に伝える	46	63.9%
		保護者や家族に相談する	26	36.1%
		友だちに相談する	35	48.6%
		その他	0	0%
		何もしない	2	2.8%

今田中学校では昨年度においてアンケート結果をふまえ、全校生でいじめについて考えました。そして、「いじめ0（ゼロ）宣言」を行いました。

今田中学校

いじめ0（ゼロ）宣言

考えよう 自分の行動 相手の心

いじめのない学校を作るために次のことを宣言します

- どんなに小さなSOSでも見逃さない
- 傍観者には絶対にならない
- 人の心の痛みを分かり、互いに理解しよう
- 自分の思いを言葉にし、伝えよう
- 自分の言動が正しいか、振り返ろう

この宣言を一人一人が意識し、誰もが笑顔で
すごせる学校を作っていくことを誓います。

平成28年2月24日
篠山市立今田中学校生徒会

この宣言の成果もあってか、「いじめられたときに誰にも相談しない」と「いじめと見たときに何もしない」という人が減っています。しかし、まだ0にはなっていません。

また、「いじめられた、今もいじめられている」という人が4人いるのに対し、「いじめをしたことがある」人は0人でした。いじめを受けた側といじめた側の意識に差があります。小学校から同じ集団で生活をしており、気心の知れた友達関係の中で、相手の気持ちを考えない言動をとることがありました。教育相談の中で一人一人の生徒の話聞き、事実を確認し、言う側にとっては軽い冗談のつもりであっても、受け手が「辛い」「嫌だ」と感じた時点でいじめであると指導しています。また、道徳や学級活動の時間、全校集会などを通して、友達や周りの人たちの良いところや人間性を見ることや心を大切にすること、集団生活の意義などの指導を積み重ねています。

いじめはいつ、どこで起こってもおかしくない事案です。叩く、蹴るなどの目に見えるいじめだけでなく、冷やかしたりからかいなど、ことばによるいじめは目に見えないだけに深刻な問題に発展することがあります。「いじめは絶対にゆるさない！」という気持ちを全校生が持ち、異変に気がつける生徒、勇気を出して注意ができる生徒、注意ができなくても何か行動を起こせる生徒づくりを推進していき、いじめの未然防止に努めていきます。

アンケート結果からも、何かあったら家族や保護者の方に相談をする生徒が多いです。各家庭におかれましても、お子さんの様子で気になること、また、どんな小さな情報でもありましたら、早い目に学校へお知らせください。学校と家庭が日頃から情報交換し合うことがこころ豊かな生徒の育成に繋がってくると考えています。よろしくお願ひいたします。

<いじめの定義> 文部科学省による
一定の人間関係のある者から、
心理的、物理的な攻撃を受け 精神的な苦痛を感じているもの。